

インパルスのレベルの高さを世界中の人に知ってもらいたい

ワイズマン・モーゼス海人 DB

パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社
エナジーシステム事業部
パワーツールSBU企画部勤務



Xリーグの強豪、パナソニックインパルスはどんなチームなのか。選手やスタッフが生時代以外から見ていた印象と、一員になってから体験した実際の姿を語る。2019年にインパルスの一員となったDBワイズマン・モーゼス海人は、自らの成長を求めて新しい環境に身を置きたいと考えインパルスでプレーすることを決めた。そして、仕事とフットボールを高いレベルで両立することに挑戦していく中で、インパルスのスタイルをもっと多くの人に知ってもらいたいと思うようになった。

——ハワイの高校から日本の大学に進学した経緯を教えてください。

ワイズマン 進学先を決める時、レスリングの奨学金選手としていくつかの大きな大学に声をかけていただいていた。フットボールでもいくつかの学校からオファーがあったのですが、私の希望する進学先とは少し違っていました。Xリーグでプレーしているのを見て影響を受けました。インパルスでプレーをしようと思った理由はいくつかありますが、新しい環境でプレーしたいと思ったからです。身近な関東の強豪チームでプレーしようとするのが普通かもしれませんが、

違いました。

大学ではフットボールを続けたい、しかし、希望する進学先からのオファーがない、という時に、縁があった日大から声をかけていただきました。日本にきたことは小学生の頃に祖母の所に3週間程遊びに来ただけで、日本にフットボールがあることも知りませんでした。自分の知らなかった環境で、新しいチャレンジをするチャンスだと考え、日大でフットボールをすることを決めました。

——Xリーグでプレーを続けることはいつ頃から考えていましたか？

また、インパルスを選んだ理由は？
ワイズマン 大学3年生の時です。大学の先輩たちがXリーグでプレーしているのを見て影響を受けました。インパルスでプレーをしようと思った理由はいくつかありますが、新しい環境でプレーしたいと思ったからです。身近な関東の強豪チームでプレーしようとするのが普通かもしれませんが、

ん。しかし、ハワイから日大に進んだ時もそうでしたが、まったく新しい環境に身を置くことは、成長できる絶好の機会です。そして、パナソニックは世界的な企業です。このような会社で働きながら、高いレベルの環境でフットボールを続けることができるとしても魅力を感じました。

——米国ではフットボール自体が職業になっていることもあり、仕事とフットボールを両立するという文化は馴染みがないと思いますが、その点はどう捉えていますか？

ワイズマン 1年目はとてもきつかったです。朝早く起きて、通勤して、仕事に全力で取り組み、その後にはフットボールも全力でプレーして、自分のトレーニングもして、家に帰って、という生活に、最初はベースが掴めず、ずっと全力で取り組みすぎて、オーバーヒートしてしまった時期がありました。

——どうやって克服しましたか？

戦いを楽しむことだと思っています。自身、強いチームや自分よりも強い相手と戦うことはとても楽しみでワクワクします。強い相手に対して固くなってしまうのではなく、全力で挑めるメンタリティをチーム全体に伝播させられるような存在になりたいと思っています。そして、インパルスやXリーグの存

ワイズマン 親のアドバイスを先輩たちとお話をする中で、自分なりに考えて導き出したのは、オンとオフをしっかり切り替えることでした。以前の私は休みの時も仕事のことやフットボールのことを考えてしまいがちで、今は仕事もフットボールもやる時は全力でやる、休みの時には休むことに集中することを心がけています。

——フットボールをする上でインパルスの環境はどうですか？

ワイズマン すごく恵まれていると思います。職場と同じ敷地内にフィールドとミーティングルーム、トリートメントをしてもらえるトレーナー室に、いつでも使えるウエイトルームがあり、選手として成長するために必要なものはすべて揃っていると思います。

私にとっては、大人になってもフットボール選手としてプレーできている事自体が特別なことです。高校時代

一になることです。ここ数年、あと一歩の所で日本一を逃していますが、チームとしての自信を培うことが必要だと思っています。相手にやられた後や、モメンタムをうまく掴めていない時に、今のインパルスは精神的に大人しくなってしまう時があります。ピンチの時にも自信を持ってプレーするには、自分よりも強い相手との

——日本のフットボールのレベルはどう捉えていますか？

ワイズマン NFLのプレシーズンまで進んだジャボリー(ウィリアムズ/LB)は、インパルスの選手は「NFLにだって負けていない」と言っています。私自身も、2020年に日本代表としてTSL選抜(米国プロ予備軍選抜)と対戦し、敗れましたがこのレベルであれば互角に戦えたという感触でした。彼らはフットボールしかしていないですが、私たちは仕事とフットボールを両立しながらそのレベルまでできています。もう少し練習ができれば勝てると思っています。

——今季の目標とご自身の目標を教えてください。

ワイズマン インパルスとしては日本



Wiseman Moses Kaito

わいずまん・もーぜす・かいと。1996年4月11日生。幼少の頃から空手、野球、バスケットボール、ボクシング、陸上競技、レスリング、フットボールなど、様々な競技に取り組んだ。カポレイ高校時代はレスリングとフットボールに取り組んだ。日本大学では1年時からLBとして先発出場。2017年には甲子園ボウル制覇を経験。2019年にインパルスに入団。2020年日本代表。2021年シーズンからDBに転向。広い守備範囲と激しいタックルで守備を支えている



IMPULSE

パナソニック インパルス 検索

panasonic.co.jp/ew/go-go-impulse/



Facebook
www.facebook.com/
PanasonicImpulse

Twitter
@gogo_impulse